

La Harmonio

N-ro 247

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia
Eldonejo : Rondo Harmonia

<< 目次 >>

☆ 2020~2022 年 RH 組織委員選挙結果		2	ページ
☆ La 107a Japana Esperanto-Kongreso sub la influo de la kronviroza epidemio	山口眞一	5	ページ
☆ 第 107 回日本大会 実行委員会に参加して	片山浩子	9	ページ
☆ コロナ禍とエスペラント	柴山紀子	11	ページ
☆ 第 108 回日本エスペラント大会、広島	野原エミ	13	ページ
☆ 近況	上田友彦	15	ページ
☆ Pri pensado kaj agado sub korona infekto	竹森浩俊	17	ページ
☆ コロナ時期でも ねこの手エスペラントは健在！	山口百合子	20	ページ
☆ Kronviruso kaj esperanta vivo en Tokuŝima	長町重昭	22	ページ
☆ コロナ禍とエスペラント	近藤方彰	24	ページ
☆ 山陽学園（中学・高校）エスペラント同好会の指導にあたっています	福井政春	26	ページ
☆ 図書情報		27	ページ
☆ インターネット情報		27	ページ
☆ イベント情報		30	ページ



「エスペラントの日」のポスター
(19 ページ参照)

2020～2022 年 R H 組織委員選挙結果

2020～2022 年 3 年間の組織委員の選挙を下記のとおり行い、森川和徳と笹沼一弘の 2 人が組織委員となりました。

本誌 246 号 (2019 年 12 月発行) に立候補受付の案内をお知らせしました。立候補の締切は 2020 年 1 月 31 日でした。その結果、2 名が組織委員選挙管理委員 (後藤美和) に立候補の届けを行いました。

2020 年 2 月 9 日に投票資格者 (2017～2019 年度 R H 会費納入者) に選挙公報 (本号 3・4 頁にも掲載) と投票用紙を送りました。投票締切は 2 月 29 日でした。

組織委員選挙管理委員 (後藤美和) が開封し、投票結果をまとめ、報告書を作成しました。その結果は次のとおりです。

- ・投票資格者： 92 人
- ・投票者： 78 人 (投票率 85 %)
- ・信任基準： 投票数の過半数
- ・投票結果： 下記の報告書のとおり、2 人とも信任されました。

2020～2022年度 Rond・ハルモニア組織委員選挙結果報告書			
RH会員から寄せられた投票用紙を開票しました。 その結果を下記のとおり報告いたします。			
・投票総数	78		
・投票結果			
候補者名 (届出順)	信任	不信任	保留
森川 和徳	78	0	0
笹沼 一弘	73	0	5
2022年 3月 4日			
RH組織委員選挙管理委員 後藤美和			

2020年2月：RH組織委員立候補者の選挙公報

森川 和徳



1. 立候補者の自己紹介、経歴

氏名： もりかわ かずのり

年齢： 64 歳

性別： 男

職業： 会社員

住所： 京都府乙訓郡大山崎町

入会年： 1974 年

活動歴： 現組織委員、La Harmonio 編集担当、財務担当

メール： kz_morikawa@yahoo.co.jp

2. 現在のRH活動およびエスペラント運動についての意見

現在は「エスペラント」が言語であることもあまり知られていません。インターネットなどを通じた広報活動が重要です。

また、インターネットによりエスペラントの情報を容易に入手できるようになったため、エスペラント団体に入会するエスペラント学習者が少なくなっています。

RH会員のほとんどの方々には 50 歳～70 歳代ですが、日本のエスペラント界ではまだ働き手の世代であり、各地のエスペラント会の活動に参加できれば、日本のエスペラント運動を活性化できると思います。

3. 2020～2022 年度、どのような活動を目指すのか

個人としては、RH、京都エスペラント会、日本エスペラント協会（JEI）で活動を進めていきます。

La Harmonio は少なくとも年 1 回発行しますので、皆様のご寄稿をお待ちしています。

2020年2月：RH組織委員立候補者の選挙公報

笹沼 一弘

1. 立候補者の自己紹介、経歴

氏名： ささぬま かずひろ

年齢： 55歳

性別： 男

職業： 会社員

住所： 滋賀県大津市

入会年： 1983年

活動歴：

京都の学生ロンドで活動後、関西市民の活動に参画。

関西書記局会議メンバー・組織委員等を務める。

1997年以來、RHのウェブサイト運営に関わる。

メール： ssnmkzhr@gmail.com



2. 現在のRH活動およびエスペラント運動についての意見

若者のエスペラント離れ、各組織の高齢化が言われて久しいですが、最近では、ネットでエスペラントを学習する青年層も少しずつ増えてきています。しかし、それが、運動自体の盛り上がりにつながっていないというのが現実です。

(1) 一般社会に対し、「エスペラントを使うとどんなにいいことがあるか、楽しいことがあるか」を発信していくこと。

(2) 人が集まって、エスペラントを使って楽しむ場をより増やしていくこと。

などが必要ではないかと考えます。

3. 2020～2022年度、どのような活動を目指すのか

日本・世界の各種大会・会合に積極的に参加し、その盛り上げにできるだけ貢献していくことによって、エスペラント界自体の活性化を図りたいと思います。

La 107a Japana Esperanto-Kongreso sub la influo de la kronviroza epidemio

YAMAGUTI Sin'iti (Nagojo)

Kiam mi estis elektita kiel la prezidanto de Loka Kongresa Komitato por la 107a Japana Esperanto-Kongreso (en Nagojo, 2020-09-20/22), mi kompreneble tute ne povis supozi la epidemian influon tiel grandegan sur la tuta mondo.

En marto ni LKK uzis la apon Skajpon (*Skype*) en sia 11a kunsido por tiuj, kiuj ne fizike ĉeestis pro timo pri sia infektiĝo aŭ pro alia kialo. Tiam mi metis la demandon, kiel ni faru, se la epidemia situacio ankoraŭ daŭros; nia interkonsento post longa diskutado estis jena: ĉar neniu povas antaŭdiri certajon post duon-jaro, ni devas daŭrigi preparadon kiel ĝis nun, kaj unu monaton antaŭ la kongreso donu finfinan konkludon, eĉ se ni devos pagi multege da mono pro nuligo de kongresejaj haloj kaj ĉambroj.



Pormemora foto, kie ĉiuj partoprenantoj surmetas maskon.

Dume la epidemio pli kaj pli disvastiĝis kaj multaj rekonas ĝin pandemio. LKK-kunsidoj ankaŭ havis sian lokon ne en efektiva ĉambro sed virtuale, nome sur Zomo (*Zoom*) kaj preskaŭ ĉiuj membroj ekuzis tiun apon. Kelkaj membroj en la komenco ne povis libere manipuli ĝin, sed iom post iom alkutimiĝis. Tiam ni malkovris unu rimarkindan fakton. T.e. kiam ni kunsidis fizike, kelkaj membroj ne ĉeestis, sed per Zomo pli multaj, eĉ ĉiuj ĉeestis. Tio estas natura konsekvenco. Kelkaj membroj loĝas en fora loko kaj bezonas kelkajn horojn por ĉeesti en kunsido. Zomo ebligis nin transiri tian baron de fizika distanco. Transiro de fizika distanco! Ja tiumomente ĉe ni lumiĝis la nova perspektivo.

En la 13a kunsido (majo) ni decidis, ke ni refoje pripensu la eblecon de nuligo de la kongreso en la venonta kunsido en junio, kaj ke ni parte utiligu retajn rimedojn. En la 14a kunsido (majo) ni diskutis pri konkretaj utiligadoj de retaj rimedoj, aŭ pri programeroj, en kiuj retaj rimedoj povas esti aplikeblaj.

La 15a kunsido (junio) estis vere grava. Fakte LKK dividiĝis en la tri opiniojn: (a) nuligo aŭ prokrasto (b) daŭrigo de preparado ĝis la fina etapo (c) reta kongreso. Post tre serioza, arda kaj longa diskutado, ni decidis, ke ni ne nuligu nek prokrastu la kongreson (sub la kondiĉo, ke registaro ne malpermesu), ke kelkaj programeroj estu nuligitaj aŭ malampleksigitaj, kaj ke en kelkaj programeroj ni enkonduku retajn rimedojn paralele kun ordinaraĵoj ĝisnunaj manieroj.

En la 17a kunsido (julio) ni decidis alpreni konkretajn retajn manierojn, nome Zomon kaj Diskordon (*Discord*). Laŭ karakteroj de programeroj, iuj uzu Zomon, aliaj Diskordon, aŭ ambaŭ... Sed malfacilaĵo estas ke multaj partoprenantoj, precipe maljunaj, ĝis nun neniam uzis Zomon nek Diskordon. Necesis kelkfojaj ekzercaj ŝancoj. Ankaŭ necesis specialaj helpantoj, kiuj bone spertiĝis pri tiuj apoj. Por tia tasko fakte tri helpantoj kaj du membroj respondecis pri ilia trejnado.

En la fino de aŭgusto ni sendis ekstran informilon al ĉiuj aliĝintoj. En ĝi ni informis ilin pri reta partopreno kaj alvokis, ke se iu hezitas viziti Nagojon transirante guberniajn limojn, tiu uzu retajn rimedojn. Septembro venis. Kaj multaj demandaj, plendaj, embarasaj voĉoj atakis LKK. Multaj el tiuj voĉoj devenis de tio, ke ili ne bone tralegis enkondukan klarigan tekston publikigitan. Kaj respondeca LKK-membro ĉiun tagon respondadis al iliaj demandoj, paralele kun aliaj gravaj taskoj.

Kaj venis la unua tago de la kongreso. Mi kiel prezidanto de LKK salutis en la inaŭguro jene: *“bv. ne miskompreni, ke tiu ĉi kongreso estas virtuala. Ĝi estas, se tiel diri, hibrida. Fizika partopreno unuaetaĝe kaj sur ĝi aldoniĝas la dua etaĝo de virtulala partopreno per Zoom kaj Discord. Tia maniero estas ege komplika kaj malfacila. Plene virtuala renkontiĝo estas facila. Ni tamen evitis tiun manieron, ĉar multaj esperantistoj ankoraŭ ne spertiĝis en uzo de interretaj rimedoj. Ni LKKanoj estas iom fieraj, ĉar ĉi hibrida kongreso estas la unuafoja en la mondo de Esperantujo. Pro la unuafoja sperto, eble okazis kaj okazos multaj fuŝoj aŭ malagrabraĵoj. Mi petas vian pardonon, komprenemon kaj toleremon. Mi ja kredas, ke multaj esperantistoj havas tolereman koron.”*

En tiu ĉi kongreso mi konsiliĝis kun membroj de LKK por la venonta kongreso en Hiroŝimo. Konklude ili kaj mi konfirmis, ke eĉ se epidemio ankoraŭ daŭras, en Hiroŝima kongreso ili ne alprenos virtualan nek hibridan manieron, ĉar tio postulas specialan konon kaj teknikon. Tiel estas bone.

Efektiva partoprenantaro nombris entute 359 — kompreneble pli malgranda ol nia antaŭsupozo komenctempa— el ili 84 estis moralaj partoprenantoj, 120 estis fizikaj, 104 retaj. Ankaŭ el eksterlando estis 10 partoprenantoj, kompreneble retaj.

Por mi estis preparado de tia ĉi kongreso estis ege laciga kaj temporaba, sed nun estas kontenta pri la rezulto.

(Fino)

9月22日
中日新聞より



エスペラントを通じて交流する「日本名駅のウイंकあいちで開エスペラント大会」が、エスペラントを通じ日韓関係を学ぶ参加者ら＝名駅のウイंकあいちで開かれている。二十二日まで。エスペラントは一八八七年、ポーランドの医師が考案。文法などが分かりやすく、言語の違う民族間の相互理解を目的にしている。二十日には日韓関係をテーマにしたシンポジウムがあり、大学講師らの講演や公開討論に参加者らが耳を傾けていた。大会は日本エスペラント協会が毎年開催し、百七回目。新型コロナウイルス感染症予防のため、初の試みとして事前登録者に対し大会の様子をオンラインで配信している。

<編集部より>

第107回日本エスペラント大会は2020年9月20日から22日、名古屋市のウイंकあいち(愛知県産業労働センター)にて開催されました。参加申込者は359人で、このうち会場に実際に来場したのは120人、オンライン参加者は104人でした。

新型コロナウイルス感染症のため、大会の中止も検討されましたが、ZoomやDiscordを使用したオンライン併用の大会として生まれ変わりました。

山口眞一さんはこの大会の現地実行委員長として大会成功のため尽力されました。他のRH会員では、現地実行委員会に片山浩子さん、堀田裕彦さん、堀田有里さん、笹沼一弘さん、ボランティアで森川和徳さんが活躍されました。

なお、文中の apo はアプリを意味する単語です。

第107回日本エスぺラント大会 実行委員会に参加して

片山 浩子 (名古屋市)

2020年9月20日～22日、愛知県名古屋市のウインクあいちで、第107回日本エスぺラント大会が開催されました（主催：日本エスぺラント協会・大会名古屋委員会）。大会実行委員およびヘルパントとして参加した体験と感想を書かせていただきます。

大会準備は2019年5月から始まり、私は途中11月から参加しました。これまで日本大会に縁のなかった私が参加したのは、実行委員長の山口眞一さんからお誘いを受けたことと、先に実行委員になっていた夫から、自分が出られない時の代理として出席するよう要請されたからです。おかげさまでRH全国合宿以来40年ぶりに大会の運営に関わり、スリリングな日々を楽しませてもらいました。

スリルというのは、今大会はコロナ禍の真っ只中で行われたからです。準備のさなかに感染が拡大し始め、外出の自粛、オリンピック延期、多人数の集まるイベントは禁止。海外でもモンテリオールの世界大会が延期になり、各地の大会や例会がオンラインで行われるようになっていきました。「こんな時に本当にやるの？」との声が聞かれ、実行委員会でも数ヶ月間議論が行われました。結論は自粛が解除された直後の6月。中止はせず延期もしない、会場が使える限り開催し、オンライン化できる番組はすることにしました。懇親会や大会遠足など、三密が予想される番組は取りやめに。1ヶ月後に迫った8月中旬、市民向け「無料公開番組」の案内チラシを作成しましたが、県境を越える移動は自粛中だったので、愛知県内の施設等に限って配布しました。

素人ゆえの気楽さで「オンライン大会って面白そう」と思った私ですが、担当した委員にとってはここからが正念場でした。高齢の参加者が多いため当然困難が予想されます。その上、今大会ではZoomとDiscordの2種類のツールを使います。まずはそれらの使い方を習熟していただかなければなりません。そこで8月9月にかけて、希望者にZoomとDiscordの練習会と接続確認会を複数回開催しました。私は「オンライン応援団」として森川和徳さんとともにZoomのヘルパントをし、困っている人にメールや電話で連絡を取りつつお手伝いしました。

これ以上感染が拡大しないか直前までドキドキしながら、いよいよ当日。政府の「Go To トラベル」キャンペーンが再開した9月の3連休、台風の襲来もなく、まさに素晴らしいタイミングで現地開催することができました。日本全国から多くの方が実参加・オンライン参加しました。初日の無料公開番組には、チラシを見たという方も数名来場。会場内はできる限りの感染防止対策をとり、開会式の「La Espero」も小声で歌いました。

ホールで行われた大会番組は、Zoom で同時に配信されました。21日の大会シンポジウム「日韓の人々の絆のために エスペラントがやってきたことと出来ること」では、韓国のパネリストも Zoom で討論に参加しました。中日新聞が取材し、その様子等を22日の朝刊で紹介しました。コロナで来日できなかった外国人が海外から講演したり、大会大学では講師が遠隔地から会場のプロジェクタを使って解説したりもしました。海外在住の参加者もこれらを視聴しました。いくつかのハプニングはありましたが、オンライン運用と参加は概ね順調にいったようでした。

私は3日間会場にいて、多くの方々とお知り合いになれたことが収穫でした。人の発するエネルギーを感じるということは、オンラインだけでは得られない感覚でした。実会場で開催することの意味を少し理解できました。

閉会式で各地の団体の活動紹介があり、森川和徳さんが RH を全国組織として紹介しました。日本大会で RH が紹介されるのは初めてのことだそうです。来年広島で開催される第108回日本大会では、分科会「RHの会」も設けられるとのこと。皆さんご参加の節は、ぜひ顔をお出しく下さい。(終)



開会式の様子



大会の受付

コロナ禍とエスペラント

柴山 紀子（横浜市）

今年は久しぶりに世界エスペラント大会（カナダ）に参加する計画を立てていたのに、新型コロナウイルスのせいで早々に中止になった。わが、エスペラントよこはま（旧横浜エスペラント会）でも、会場（神奈川県民センター）が使えなくなった。会報の印刷も同センターでやっていたので、4月号は業者に発注した。その後、サボって（？）会報は出していない（9月末現在）。

私の所属しているヨコハマサローノというグループはメンバー8人で、輪読→作文→輪読→翻訳を順番にやっている。4月は丸々休んだが、5月からはZoomを使い始めた。最初は、私と夫、ひとり一台のiPhoneでZoomに参加したら、すごいハウリングで皆のひんしゆくを買った。私たちは、ハウリングが起こることすら知らなかったのだ。次からは二人で一台のiPadで参加している。そのうち、二人ともがちゃんと映るようにコンバージョンレンズを使ったら、と教えてもらって、iPadにつける広角レンズを買った。メンバーの8人は下は50歳代から上は80歳越えだが、全員何とかZoomは使えている。メンバーの中には腰が痛いとか、トイレがやっかいだとか、持病があるとかで、センターに行くよりZoomの方がいいと言う人が多い。耳の遠い人もZoomの方がいいみたい。Zoomだと皆勤という日もかなりある。Zoom例会の最後には、メンバーのIさんご夫妻のキーボードとマンドリンのミニコンサートがあって、毎回懐かしい曲を2曲披露して下さる。これもZoom例会のいいところかな。

しかし、Zoomはなぜだか疲れる。私だけかなあ。

私たち夫婦は、夫が“La Revuo Orienta”の編集長で、私が割付を担当している。編集作業自体はもともとリモートだったので、コロナ禍でもさほど不便はない。ただ、5月頃からぼったり活動の記事、特に写真が来なくなった。活動していないのだから写真がないのはあたりまえだが、今までは写真でかなりの部分を埋めていたのに、それがなくなって夫は苦勞している。特に表紙裏を何で埋めるか毎号困っている。今までは写

真で調整していた記事欄が、写真がないせいで中途半端なところで終わってしまって、その穴埋めをどうするか、夫はいつもない知恵をしばってうんうん言っている。編集長を退任する頃には頭がスカスカになっているのでは？と心配になる。

9月20日～22日の第107回日本エスペラント大会（名古屋）には夫婦で参加した。コロナ禍で実参加は120人くらいだったが、ZoomやDiscordでのリモート参加もあり、なかなかよかったと思う。コロナのおかげ(?)で、リモート参加という方法を思いつかせてもらったのは収穫ではないだろうか。「来年からは、バリアフリーのためにリモート参加も取り入れるんじゃない?」と夫に聞いてみたら、「それは無理。今回はリモートに詳しい人がいたからできたけど、毎年いるとは限らない。」ときっぱり言われた。そうだろうか? 今回だって、はじめからリモートを想定していたわけではないはず。たまたまそういうことに詳しい人がいただけで、来年からもやるとなると、そういう人を内外から探してくればいいのでは? 今回だって、学生さんがアルバイトで手伝ってくれてたし、エスペラント界以外の人にも手伝ってもらえばいいと思う。

なにより、今回名古屋でスタッフとして頑張ってくくださった皆様、すばらしい内容でした。ありがとうございました。

(終)



開会式でのLa Espero斉唱
(ピアノ伴奏は相川拓也さん)
壇上は、北川郁子さん(JEI理事長)
山口眞一さん(現地大会実行委員長)



開会式にて、大会旗を山口さんから次年度開催地広島
の忍岡妙子さんに渡すところ

第108回日本エスペラント大会、広島

La 108a Japana Esperanto-Kongreso en la urbo
Hirosima, de la 18a ĝis 20a de septembro, 2021.

野原 エミ (広島市)

平和公園のすぐ南側、本川という川のほとりに「JMS アステールプラザ」(日本大会の会場)があります。

原爆が落とされる前、ここには県庁や県病院があり、池のまわりに美しい庭が広がっていました。

来年の日本大会を広島でやる、という話を聞いたのは今年2月の半ばでした。

ところが、この頃から日本に、コロナが急な広がり方をした為に、広島エスペラントセンターの毎週の例会が休みになりました。

Ĝuste sude de la Paca Parko, sur la bordo de la rivero Honkaŭa, estas la konstruaĵo “Aster Plaza”, en kiu la Japana Kongreso okazos.

Antaŭ ol la atombombo estis faligita, ĉi tie troviĝis la guberniaj oficejo kaj hospitalo, kaj bela ĝardeno disvastiĝis ĉirkaŭ lageto.

Estis meze de ĉijara februaro, kiam mi aŭdis, ke la venontjara Japana Kongreso okazos en la urbo Hirosima.

Tamen, ĉar ĉirkaŭ ĉi tiu tempo, la koronaviruso disvastiĝis subite en Japanio, do niaj regulaj renkontiĝoj de Hirosima Esperanto-Centro estis fermitaj.



Kongresejo



Emblemo

また、広島で唯一人の大学生学習者の中野さんが、エスペラントを使っての初めての韓国旅行を計画し、指導者の山田さんと強化学習会をしたり、韓国のエスペランチストとメールのやりとりをして、着々と準備を進めていましたが、残念ながら中止になりました。

しかし、そんな中でも、忍岡夫妻は確実に準備をすすめられました。

3月からはメーリングリストで互いに近況を知らせあいました。

そして7月から例会が再開、26日、JEIの堀田さんをお迎えして大会会場を見学しました。

Rondハルモニーアの分科会や、香川の木谷さんのズームを使った分科会も計画されています。

皆さん、来年、広島でお会いするのを楽しみにしています。

Krome, universitata studento, s-ro Nakano, kiu lernas Esperanton en HEC, planis sian unuan vojaĝon al Koreio per Esperanto kaj preparis por ĝi lernante por plifortigado kun gvidanto, s-ro Yamada, kaj interŝanĝinte retroŝtojn kun korea esperantisto, bedaŭrinde devis ĉesi la vojaĝon.

Ges-roj Osioka, tamen, vigle kaj firme agadis por preparado en tiu malfacila stato.

Ekde marto membroj de Hirosima komencis sendi retroŝtojn per dissendolisto por interŝanĝi informojn reciproke.

Ekde julio nia kutima lernrenkontiĝo rekomenciĝis, kaj en la 26a, invitante s-inon Hotta de JEI, ni vizitis la kongresejon.

Oni planas okazigi fakkunsidon por membroj de Rondo Harmonia, kaj s-ino Kitani de la gubernio Kagaŭa, kunsidon per Zoom.

Ĉiuj geamikoj, mi antaŭĝojas vidi vin ĉiujn en la urbo Hirosima venontjare.

<編集部より>

来年の第108回日本大会の要項は、30～31 頁をご覧ください。

近況

上田 友彦（奈良県大和郡山市）

Rondo Harmonia 会員の上田友彦です。

皆様にはすっかりご無沙汰しており申し訳ありません。体調不良のため最近数年間ほとんど顔を出しておりません。今年は年男で 84 歳になります。



本年 2月1日(土)午後4時頃から全く尿が出なくなり、命の危険を感じてタクシーで奈良県総合医療センターに駆け込みましたところ、幸い緊急手術を受けることができ、カテーテルを膀胱、尿道内に残したまま帰宅し、2月3日に泌尿器科にかかることになりました。

以後奈良県総合医療センター、現在は地元の開業医の先生のもとに2,3週置きに通院しておりますが、あまり経過はよくありません。私は手術を望んでいるのですが、なかなか承知してくれません。一日に3回も導尿しているのですが、残尿感があり頻尿が解消しません。夜熟睡できないのがもっとも辛いです。私の体の事ばかりですみません。

最近メールを見ていると最新のオンラインテクニックを活用した多様なエスペランティストの大きささまざまな交流会が開かれているようで隔世の感があります。健康でもう10歳若ければと思いますが、かなわぬ夢です。以下は私の古典的な体験です。

世界大会を利用して2,3日抜け出しイギリス人、ドイツ人、フランス人（現地駐在の日本人を除く）と将棋を指したことを思い出します。帰国後も時刻と日にちを約束して、とくにドイツ人エスペランティストと5,6年前までオンラインで週一のペースで2,3時間将棋を指していました。

ちなみに私は Japana Šako の fakdelegito をしています。現在は自宅で子供たちに将棋を教えています。いまでは気が紛れて最大の楽しみ、生きがいになっています。なかには女流プロになった子もおります。

人間はいくら年を取り、病気がちになっても小さな希望や楽しみがある限り生きていけるのだとつくづく感じます。

私は43年間、図書館員と図書館学教員をやってきましたが、唯一イギリス人図書館員と親しくなりましたが、それ以外の方とは連絡も取れませんでした。世界の図書館員にはエスペ란ティストはいないのかと不思議でなりません。

〒639-1157 奈良県大和郡山市新中町 10-1

Tel/Fax:0743-54-9291

E-Mail: byr11026@nifty.com

<編集部より>

上田友彦さんは1936年、奈良県生まれ。1984年にエスペラントを独習され、JEI（当時は、日本エスペラント学会）に入会され、1995年にエスペラント将棋倶楽部を設立され、その会長になりました。UEA（世界エスペラント協会）のFakdelegito pri Japana Ŝako（日本将棋の専門デレギート）にもなられました。

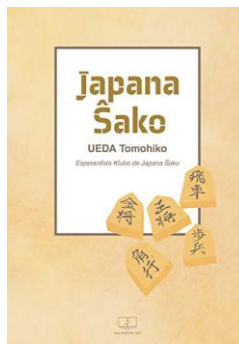
上田さんがRHに入会された時期ははっきりしませんが、日本大会や関西大会でのRHの分科会の折に入会されたようです。

上田さんはKindleの電子書籍3冊を昨年発行されました。本誌246号で紹介しましたが、再度掲載します。

将棋への招待 Invito al Japana Ŝako 700円。

Japana Ŝako 600円

希望する人の夢 700円

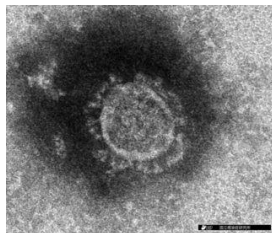


Pri pensado kaj agado sub korona infekto

Takemori Hirotoŝi (Nara)

Virusa infekto

La nova koronaviruso disvastiĝas tra la tuta mondo. Tio limigas eĉ la banalajn aferojn, kiuj kutime estas en ĉiutago. Oni limigas amasajn kunvenojn kaj vojaĝojn trans kelkaj gubernioj. Trinkejoj, restoracioj kaj manĝejoj estas libervole fermitaj pro la homamasoj en la fermita spaco. Perdo de rilato inter homoj kaŭzas grandajn financajn perdojn por manĝejoj kaj vojaĝagentejoj. Kaj la situacio koncentriĝas al malfortuloj, kiel studentoj, eksterlandanoj kaj maljunuloj. Post ĉio, la nunaj mezuroj baziĝas sur la supozo, ke vi eble infektis viruson, aŭ mi eble infektos, kaj ni faras paŝojn por preventi unu la alian. Mi pensas, ke ĉi tio estas tre malkvieta situacio.



Malkonsento

Antaŭ ol la viruso aperis, mi pensas, ke konflikto, diskriminacio kaj antaŭjuĝo karakterizis la mondon. Mi sentas, ke ĉi tiu tendenco akcelas post virusa infekto. Ĉiam oni diris, ke gravas paroli kun homoj, kiuj malkonsentas kaj fari konkludon post interparolo, sed tia idealo estas sufiĉe malfacila en la realo. Ĉu eblas atingi konsenton inter homoj kun malsimilaj opinioj dum la diskuto kaj solvi la problemon? Lastatempe ŝajnas, ke multaj homoj emas rezigni pri dialogo kaj ne pensi por si mem.

Rigardu reen sur la vivon

Kiam okazas grava katastrofo aŭ grava socia ŝanĝo kiel tiu viruso, niaj valoroj kaj vivmaniero estas reekzamenitaj, kaj estas tempo zorgi pri kiel vivos homoj. Mi pensas, ke nun estas tempo por la ŝanĝo.

Ni kunekzistas kun la naturo kaj deziro

Homoj estas lertaj kreitaĵoj, sed ni devas senti, ke ili kunvivas kun aliaj kreitaĵoj kaj tio estas, ke ili estas savitaj de la graco de la naturo. Aliflanke, mi pensas, ke ni devas vivi kun deziro. Mi ne pensas, ke ni devas rezigni niajn dezirojn, ekzerci sin kaj fariĝi Bodisatvo aŭ Budho. Ĉiuj volas babili, vojaĝi kaj mangi kun amikoj.

Necesa diskuto

Oni kredas, ke necesas komuna fundamento de kogno kaj pensado por paroli al homoj kun malsamaj opinioj. Mi ne volas paroli kun tia prezidento, kiu nomas la novan viruson kiel ĉina viruso kaj incitas la disputon, aŭ kun tia diktatoro, kiu amas raketajn fajrajn ludojn en najbara lando. Mi ne povas paroli kun ili. Sed tamen necesas dialogo. Neado de dialogo kondukas nur limitan konkludon, t.e. militon.

Traduko per artefarita inteligenteco

Google-traduko fariĝis tre utila antaŭ nelonge. Tiu ĉi manuskripto ankaŭ estas amplekse skribita per la *Google*-traduko. Mi ne estas specialisto de *Google*-traduko, do eble povas havi kelkajn miskomprenojn. La traduko per artefarita inteligenteco ne uzas faman kaj potencon superkomputilon kaj atingas la simuladon de la funkcio de homaj cerbaj neŭronoj nomata profunda lernado per matematika modelo, kies principo estas vaste aplikata al multaj homoj en diversaj kampoj. Oni povas gajni la ĝustajn tradukojn tra multaj provoj kaj eraroj, uzante matematikajn modelojn disponeblajn por ĉiuj. Mi ne scias la efektivan situacion, mi ne scias ĉu la provoj kaj eraroj estas aŭtomataj, duon-aŭtomataj aŭ tute manaj. Sed tio signifas ke la klopodoj de homoj speguliĝas en la traduko.

Ankaŭ la granda kvanto da informoj en la interreto ne nature aperas sur la ekranoj de komputiloj kaj poŝtelefonoj. Multaj homoj senĉese enigis informojn en la reto. Oni povas diri, ke la *Google*-traduko kaj informoj de en la interreto estas faritaj per homara bonintenco kaj klopodo.

Mi esperas ke la konscienco kaj penado de homaro venkos la virusan infekton.

本原稿はKLEG機関誌La Movado 2020年8月号掲載のKajero Libervolaの原稿を元に一部修正・加筆したものです。

[日本語要約]

ウイルス禍で考えていること。

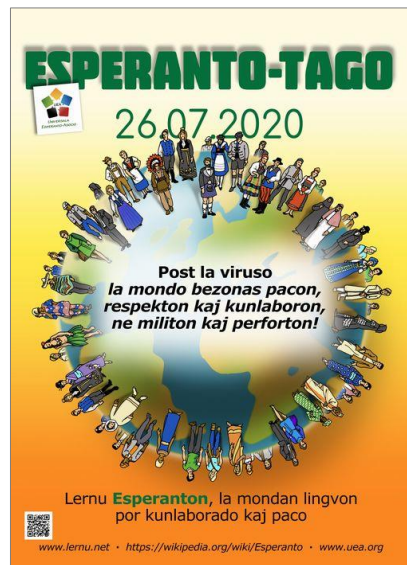
コロナウイルスは世界中に広まり、日常生活の些細なことでさえ制限され、紛争、差別、偏見が加速していると感じています。今まさに価値観の改革の時と考えています。一方で、グーグル翻訳やインターネット上の大量の情報のように、人間の善意と努力によって営まれている現象も同時に加速しています。人類の良心と努力がウイルス感染を克服することを願っています。

エスペラントの誕生日

7月26日はエスペラントの第一書 (La Unua Libro) のロシア語版が発行された日です。2020年でエスペラントは133歳となりました。

右のポスターはエスペラント版で、日本語を含む、各国語版が次のアドレスからダウンロードできます。

<http://www.linguistic-rights.org/esperanto-tago/2020/>



コロナ時期でも ねこの手エスペラントは健在！

山口 百合子（横浜市）

巷でコロナのため閉店が増えたころ、脳トレエスペラント学習会もエスペラント歌声喫茶も一回休みましたが、脳トレエスペが月二回、エスペ歌声が月一回しかないので、参加者から待たれていて、再開することになりました。

店の入口にはアルコール消毒液、窓は開け放ち、換気扇を回し、エアコンをつけ、テーブルには100均で買って寄付してくれたパーテーションもどきを設置。もちろん皆マスクやフェイスシールドを着用です。脳トレエスペラントの参加者で遠方に住む山本美郷さんはリモートでの参加です。2時半ごろはおやつタイムですが、その時間には、山本さんも自宅で用意したおやつを食べています。便利な世の中です。

脳トレエスペラントの二回のうち一回は私担当で、もう一回は連れが担当しています。連れはエスペラント力がかなり高いのに、いつまでも興味を失わず、勉強を続けているのには感心します。実は、コロナ騒動が始まったころ、脳トレエスペラントを全面的に連れに担当してもらおうと思いました。もう海外に行くこともないし、海外からのお客さんを迎えることもないだろうから、もう、いいか！これで、脳トレエスペラントを止めると言われたらそれも仕方ない、とすっかり交代する気分になっていました。が、一回は連れに文法的な事を中心にしっかり教えてもらって、もう一回は楽しみたいと言われて、楽しむなら私の出番！で、継続することになりました。私が先生役ではいつまでたっても上達しないので、あっさり交代を受け入れられる思っていたので、びっくりしたというか、嬉しかったというか、これまで通り、ゆるく、エスペラントを楽しもうと思ったしだいです。



エスペラント歌声喫茶は、ウクレレ教室の先生役の男性が伴奏をしてくれて、歌集 [Japanaj kantoj en Esperanto] の全篇から歌いやすい歌を抜粋して別に歌集を一冊に作って歌っています。なにぶん参加者12人中9人がエスペランティストではないので、読み方を繰り返し繰り返し練習します。ウクレレの先生と漫才的？な掛け合いをしながら、時々説明をしながら。ウクレレの先生は少なくとも、もう読み方がわかり、他の人達から感心されています。

何年か前、ドイツ人のマンフレッドが来た時、歌詞を読んでもらったら、美しくてほれほれしましたが、私はそれはさておき、はっきりと大きな声で、繰り返し繰り返し読み、楽しかった！と感じられる時間を大切にしています。参加者が減らないので、楽しんでもらえてるかも。

今歌っているのは、炭坑節、エーデルワイス、ドナドナ、**Kum ba ja! Kum ba ja!** これは若かりし頃、どこかの合宿で休憩時間にベンチに座っていた男性たちが数人、突然歌い出して、しかも素敵なハーモニーで、すごく感激した記憶があります。その時の情景が目に浮かびます……。短い曲なので、楽譜がなくても歌えるので、学習会の時、時々歌って来た曲でもありますが、素敵なハーモニーにはなりません。

毎年一回、学芸会と称して楽器類の演奏と、スペイン語、英語、エスペラントの歌の披露の場がありましたが、コロナのせいで中止になりました。発表のために練習をしているわけではありませんが、メリハリのため、各教室の演奏や歌う風景をビデオに撮って、ライングループに載せることにしました。便利な世の中になったものです。

これまで時々LHにゆるいゆるい原稿を載せていただきましたが、編集担当の森川さんにネタがないので今回は最後ですと宣言しました。人生最終段階が長く続くにせよ、最終段階です。これからも、元気な間はずっと月一回の脳トレエスペラントとエスペラント歌声喫茶で、笑ったり、喋ったり、歌ったり、食べたり、学んだりを変わらず楽しく続けていくことでしょう。

ねこの手ハウスの活動も、コロナ事情に合わせて、変更したり、中止したり改善したりして、臨機応変に誰でも居場所として続きます。来店歓迎！連絡先：山口百合子 09043810036

(終)

Kronviruso kaj esperanta vivo en Tokuŝima

Ŝigeaki Nagamaĉi

La 20a Esperanto-Kongreso de Ĉugoku kaj Ŝikoku okazis en la 26a kaj 27a de oktobro en 2019 en la urbo Kotohira de la gubernio Kagaŭa, kaj tie la 21a kongreso estis decidita okazi en la urbo Tokuŝima. Tiam la kronviruso KOVIM-19 ankoraŭ ne troviĝis en la homa societo. Zamenhofa festo de Tokuŝima-Esperanto-Societo (TES) okazis en la 14a de decembro en 2019 en malgranda kunvenejo en la oficejo de TOPIA (Tokuŝima Prefektuja Internacia Interŝanĝa Asocio) kiu troviĝas en la 6a etaĝo de centra stacidomo de Tokuŝima. Tiam ni, TES, decidis ke se ni povos uzi ambaŭ grandan kaj malgrandan kunvenejon, ni okazigu la kongreson.

Zamenhofa festo

la aŭtoro sidas en
la 3a de dekstre
en la 1a vico.



Nova jaro 2020 venis kun novtipa kronviruso. En februaro la ŝipo “Diamanta Princino” revenis al Jokohamo kun multaj infektitoj de kronviruso, kaj en grandaj urboj kiel Tokio kaj Osaka la nombro de la infektitoj ekmultiĝis. Tiam TOPIA petis nin ke ne kunvenu en ĝia oficejo kvankam la infektitoj estas ege malmultaj en Tokuŝima, la dua plej malmultaj infektitoj inter gubernioj. Ekde tiam ni ne povis kunveni kaj ĉe la fino de majo ni decidis ke ni ne okazigos la kongreson ĉijare ĉar ni ne povos prepari ĝin.

En la 27a de junio ni rekomencis kunsidon en TOPIA, ĉar la nombro de infektitoj estis ankoraŭ tre malmulta kaj ni povis ekspekti ke la kronviruso ne aktivus somere kaj TOPIA permesis nin kunveni. Ni povis kunveni ankaŭ la 18an de julio. Tamen la 22an de julio la registaro komencis la kampanjon “Vojaĝu”, kaj post tio la nombro de la infektitoj ege multiĝis eĉ en Tokuŝima. Pro tio ni devis rezigni la kunsidon en aŭgusto.

Tiel la kronviruso kaj la registaro ege malhelpis esperantan agadon de TES. Ili ankaŭ donis grandan influon al mia privata vivo.

La Universala Kongreso de Esperanto en Montrealo estis nuligita pro la kronviruso, kvankam mi kaj mia edzino ege esperis ĝui belan pejzaĝon de Kanado. Anstataŭe Virtuala Kongreso estis okazigita kaj mi partoprenis ĝin, sed iom malfacile, ĉar pro la tempodiferenco inter Montrealo kaj Tokuŝima multaj programeroj okazis nokte en japana tempo. Feliĉe mi povis aŭskulti tre bonan prelegon farita de s-ino M. Grosjean pri la 75a memortago de Hiroŝimo kaj Nagasako.

Ĉar oni devigis min resti hejme, mi komencis skribi blogon “Blogo de Peza Lumo” en januaro. Peza lumo estas esperanta traduko de mia nomo Ŝigeaki. Tie mi skribis pri mia hobio, ĉefe pri fari aŭdian amplifikilon. En la komenco de majo prof. Kiselman, kiu estas sveda esperanta matematikisto, petis min skribi esperantan artikolon pri matematika fiziko por la revuo de Internacia Asocio de Esperantaj Matematikistoj nomata “Matematiko translimen” kiun li komencis redakti. Ĉar mi havas sufiĉe da tempo mi konsentas skribi ĝin, kaj en la fino de julio mi elskribis 50 paĝan artikolon pri kvantuma teleportado.

Nun mi pasigas enuajn tagojn restante hejme. Ĝis kiam daŭras la enuaj tagoj!?

(Fino)

コロナ禍とエスペラント

近藤 方彰（宮崎市）

まず宮崎エスペラント会の現状ですが、主たる活動だった例会が全く行えない状態です。会場の確保は現在ではできるようになったのですが、会員のほとんどが 65 歳以上（最高齢は 92 歳）では、例会を持つこと自体がリスクが大きく、また他の会のようにリモートなどを用いて会を開ければいいのですが、現在メールをさえ使っている人が少なく（私だけになりました）、電話以外では連絡を取れない状態です。UEA の *Esperanto* 誌や *Kontakto* 誌をダウンロードして会員に送付し、読んで貰っています。機関紙 *La Praktikanto* 7 月号はどうか発行することができ、今 10 月号に取り組んでいるところです。私個人も上記の雑誌を読んだり、ネットで世界大会を覗いたりして過ごしています。

5 月に予定されていた福岡県太宰府市での第 94 回九州エスペラント大会は、10 月に延期になっていましたが、つい先日再度の延期が決まり、今年には行えないことになりました。しかし来年開催できるかどうかはまだ定かではありません。

9 月 20-22 日の名古屋市での第 107 回日本エスペラント大会に参加しました。実参加者も例年の 3 分の 1 程と少なく、当然のことながら外国人の参加も無く、プログラムもかなり割愛されていて、少し寂しい大会でした。しかし Zoom などを用いたハイブリッドな新しい形の大会の試みで、今後はこのような流れになるのかもしれませんが、技術的にはかなり難しいそうです。またコロナ対策で何人かの演者がマスクをして講演されたのですが、とても聞き取りにくかったです。換気が充分できちんと距離を取って有れば、マスクは必要ないのですが。

さて私自身の日常生活はと言いますと、コロナ以前とほとんど変わりません。家に籠ってもいませんし、食事にも旅行にも普通に出かけています。人出が少なく混んでいなくて良かったのですが、最近の Go to トラブル、いやトラベルでまた人が増えてきているようです。しかし 4 月に予定していた屋久島旅行はホテルから宿泊を断られ、5 月の宮崎国際音楽祭は演奏者が来日できないこともあり、すべてのコンサートが中止になりました。その他、諸々の展覧会や学会、講演会、会合も軒並み中

止となり、出かける機会はかなり少なくなっていました。最近はやっとコンサートや展覧会なども少しずつ始まってきたようです。「高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニスト」のコンサートに行きました。席が一つ置きなのでゆっくりと聞けました。

ところで先ほども少し書きましたが、コロナ対策のことです。換気が充分で距離がきちんと取ってあれば、マスクは必要ありません。人込みじゃない所を一人で歩いたり、車を一人で運転したり、自転車に乗っていたりする時はマスクは不要です。接触感染防止のためには、とにかく手洗いと消毒、外出中は余計なものに触らない、それと顔に手をやらないことが重要です。コロナとは長い付き合いになりますので、あまり神経質にならずに、正しい感染防止対策で乗り切っていきましょう。

(終)

「コロナウィルス」は kronviruso か koronaviruso か

本号のエスペラント文で「コロナウィルス」のエスペラント訳が 2 種類使用されています。kronviruso (p.5, 22, 23) と koronaviruso (p.13, 17) です。

前者は kron/viruso という合成語です。Corona は、ラテン語では王冠 (krono) を意味します。そのため、ヨーロッパのエスペランティストはこの訳語を好んでいます。また、Corona にはコロナ (太陽の外側部分) の意味もあり、kronviruso と呼ぶ人もいます。

後者はラテン語の coronavirus が元となっています。koronaviruso は合成語ではなく、一つの語根です。

なお、Akademio de Esperanto は、kronviruso または koronaviruso を推奨しています。

コンピュータの訳語は、昔は komputero、komputoro、komputilo などがあり、現在は komputilo が最もよく使用されています。同じように、いずれはどれかの訳に収束すると思います。

(編集部)

山陽学園（中学・高校）エスペラント同好会の指導にあたっています

福井 政春（岡山市）

岡山エスペラント会の原田扶佐子さんから、山陽女子高校エスペラント同好会の指導をお願いされたのが2年前の2018年の9月でした。御高齢という事もあり15年以上指導されてこられた後任をまかされました。毎週金曜日の放課後活動をしています。学校から正式に依頼され、外部講師という肩書で指導をしています。顧問の柴田先生と協力して生徒の指導にあたっています。今年の春から「山陽女子高校」から、「山陽学園」（男女共学）に名称が変わりました。今年から中1と高1に男子が入ってきました。エスペラント同好会には現在10名在籍しています。中1が3名、中2が4名、高3が3名です。（中1の3名のうち2名が男子）指導を始めて再認識したのですが、山陽女子高校はエスペラントと深いかかわりがあります。

日本のエスペラント普及に大きな功績を残したエドワード・ガントレットが岡山で英語の指導にあたっていたころ当時の山陽高等女学校の教頭であった上代淑先生にエスペラントを教授しました。1905年ころの事です。（上代淑先生は山陽高等女学校【今の山陽学園大学、高校】の校長を50年以上務め岡山市の名誉市民にもなっておられます。）

そういう縁もあり、山陽学園のエスペラントクラブは40年以上続いています。昨年の文化祭ではエスペラント同好会の展示が展示部門で最優秀賞をいただきました。今年は残念ながら4位でしたが来年に向けての準備を始めました。

まだ初心者ばかりですが、エスペラントの面白さを少しでも伝えて行けたらと思っています。

※右の写真にて

福井さんは後列左端
（編集部）



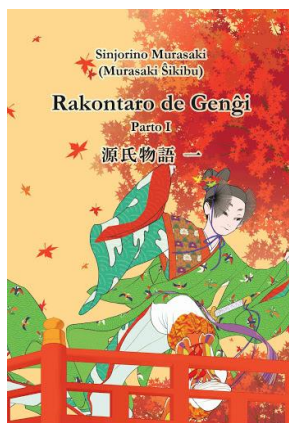
図書情報

★ 源氏物語のエスペラント訳

belmonto さん(やました としひろ、鹿児島県在住)が“Rakontaro de Genĝi Parto I” (A5判、383頁、3,500円)を発行されました。『源氏物語』の第1帖「桐壺」から第20帖「朝顔」までのエスペラント訳です。

ご注文はベルモント出版へ。本体価格以外にも梱包送料が必要ですが、RH 会員には梱包送料をベルモント出版が負担します。申込書の最後に「RH 会員」であることを明記、本体価格をお振り込みください。

ベルモント出版⇒ <http://esperas.info/?mendo2>



インターネット情報

★ エスペラントの今

JEI(日本エスペラント協会)の広報委員会がマスコミ向けに「エスペラントの今」を発行しています。最近の発行は次のとおりです。

第19号：アジアで初開催 多言語イベント「ポリグロット・コンフェレンス」

(2020年2月4日)

第20号：遠く離れていてもエスペラント語でつながる輪
— 新型コロナウイルス・世界の仲間からの報告 —

(2020年5月22日)

第21号：東日本大震災からの復興とエスペラント
— エスペラント語が成功させた支援活動 —

(2020年8月20日)

この広報紙の PDF ファイルが次のウェブページからダウンロードできます。

<https://www.jei.or.jp/esperanto-no-ima>

★ FM 放送「エスペラントって何？」が 100 回超え

京都エスペラント会は、京都地域 FM 局「NPO 京都コミュニティ放送 京都三条ラジオカフェ FM79.7」にて有料放送番組「エスペラントって何？」を毎月第 2 と第 4 水曜日の 13:04～13:10（6 分間）に行っています。海外からのエスペランティストへのインタビュー、初心者のエスペラントを始めた理由、歌など、豊富な話題で、エスペラントを紹介しています。

2016 年 3 月から続いており、2020 年 5 月 13 日の放送で 100 回目となり、まだ続きます。

インターネットで全ての放送を聴くことができますので、お聴きください。 <http://radiocafe.jp/201603001/>

★ エスペラント紹介の動画

次の動画が公開されています。一度ご覧ください。

* 15 分でわかるエスペラント講座

JEI（日本エスペラント協会）研究教育部と ILEI（国際エスペラント教育者連盟）日本支部が作成。2020 年 4 月公開。

https://www.youtube.com/watch?v=Gvc_DHVas0E

* エスペラントは平和の言葉

EPA（エスペラント普及会）が作成。2019 年 9 月公開。6 分。

<https://www.youtube.com/watch?v=3LMkcY0RKOU&t=89s>

★ 第 105 回世界エスペラント大会は中止

新型コロナウイルス感染症の影響で、エスペラントのさまざまなイベントが中止になり、または、オンラインでの開催となっています。

第 105 回世界大会（La 105-a Universala Kongreso de Esperanto）は、8 月 1 日～8 日、



MONDAFEST'2020
LA MONDA FESTIVALO DE ESPERANTO
20 JUNIO - 20 SEPTEMBRO

カナダのモントリオールで開催予定でしたが、今年の開催は取り止めになり、2年後の2022年に開催されることになりました。

6月20日から9月20日まで、UEA（世界エスペラント協会）主催のMondaFest' 2020というグローバルフェスティバルがインターネットで開催。約30のイベントがありましたが、その中の一つが、仮想の世界大会、La Unua Virtuala Kongreso de Esperanto です。8月1日～8日に開催されました。



★ 新しいイベント検索ページ

エスペラントのイベントを検索できるウェブページです。

<https://eventaservo.org>

コロナ禍で、Zomo (Zoom) 等を使用したインターネットのイベントが増えています。普通のイベント（大会やセミナー）以外に、ネットのイベントもサポートしているのが特徴です。特に、ネットのイベントは告知から開催までが短いので、こういう検索ページが役立ちます。

★ エスペラントーエスペラント辞典の最新版

2020年8月にvortaro.netが更新され、PIV (Plena Ilustrita Vortaro) の2020年版が無料で公開されました。この新版では、辞書のテキスト全体も検索できるなど、機能が増えています。ネット版では、テキストだけで、イラストはありません。

<https://vortaro.net>

紙版のPIVも今年中に発行されるとのことです。



イベント情報

全国各地のエスペラントの講習会や展示会等の最新情報がインターネットで公開されています。詳細は、編集部までご連絡ください。

<https://www.jei.or.jp/saisin-gyouzi/>

★ 第 61 回東北エスペラント大会

La 61a Tōhoku-Kongreso de Esperanto

主催：東北エスペラント連盟、仙台エスペラント会

期日：11月7日(土)・8日(日)

会場：宮城県塩竈市公民館本町分室

★ 第 68 回関西エスペラント大会

La 68a Kongreso de Esperantistoj en Kansajo

主催：関西エスペラント連盟、高槻エスペラント会

期日：11月14日(土)・15日(日)

会場：高槻現代劇場（大阪府高槻市）

ウェブ：<http://www.kleg.org/kek/kek68.htm>

※14日午後に RH 会員によるミニ大学を開催します。

★ 第 106 回世界エスペラント大会

La 106-a Universala Kongreso de Esperanto

期日：2021年7月17日(土)～24日(土)

開催都市：イギリス・ベルファスト（Belfast）

ウェブ：<https://www.uea.org/kongresoj>



★ 第 108 回日本エスペラント大会

La 108-a Japana Esperanto-Kongreso

期日：2021年9月18日(土)・19日(日)・20日(月/祝)

会場：アステールプラザ（広島市中区加古町 4-17）

主催：日本エスペラント協会、広島エスペラント会

大会テーマ：La mondon ligas animoj de Hiroŝimo

ヒロシマの心を世界へ



主なプログラム

- 18日 公開講演「ヒロシマを生き抜いて」^{きりあけ}切明千枝子さん
公開番組 動画と30分講座「エスペラントの話」
開会式、分科会、晚餐会
- 19日 分科会（「RHの会」を開催）、講演など
- 20日 分科会、閉会式、大会遠足

記念品：“Promenado en Hiroshima”

大会参加費

参加費	期限	2021年 3月末まで	6月末まで	7月から	記念品
	① 一般		5,500円	6,000円	
② 初回参加者		3,500円	4,000円	5,000円	
③ 障害者		3,000円	3,000円	4,000円	
④ 家族		2,500円	3,000円	4,000円	
⑤ 18～35歳		2,500円	3,000円	4,000円	
⑥ 17歳以下		1,000円	1,000円	1,500円	
⑦ 17歳以下		無料			
⑧ 来日旅行者		2,000円		有り	
⑨ 不在参加		3,500円		有り	

宿泊：各自で宿泊先をご予約ください。

昼食：弁当の手配はありません。周辺に飲食施設やコンビニがあります。

問合せ・参加申込み先

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3 日本エスペラント協会
TEL 03-3203-4581 FAX 03-3203-4582
電子メール jek2021@jei.or.jp
振替口座 00130-4-744162 名義「日本エスペラント大会 A」

RH 会員や RH 出身者が大会実行委員会に関わっています。
2021年9月19日に「RHの会」という分科会を行います。時間
や内容は未定ですが、多数のご参加をお待ちしています。

<< 編集後記 >>

本号は、RH運動に関係された300人以上に郵送しています。このうち、97人は2020年RH維持会費をすでに納入済みです。

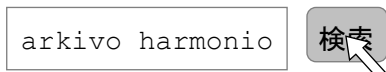
本号では、日本エスペラント大会を中心に、コロナ禍でのエスペラント運動を紹介しています。エスペラント運動から離れている方々が本号を読んで、エスペラントに再び興味をもていただければありがたいことです。

★ 次号発行日

2021年10月を予定しています。2021年9月末までに原稿を編集部（下記）宛てお送りください。

★ 本誌PDFファイルの保管場所

PDFファイルをダウンロードできます。



Arkivo de La Harmonio

http://esperanto.jp/arkivo_harmonio.html

La Harmonio 247号 2020年10月20日発行
編集発行 Rondo Harmonia（国際語教育協議会）

* 組織委員会書記局・La Harmonio 編集部・財務担当
〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎尻江13-8 森川和徳
電子メール kz_morikawa@yahoo.co.jp

* ウェブサイト <http://esperanto.jp>

* RH会費（会計年度 1月1日から12月31日まで）

◇ RH会員お一人の場合
維持会費 年 600円

◇ ご夫婦ともRH会員の場合
維持会費+家族会費 年 900円（600円+300円）

* 会費払込先

振替口座 01050-3-11902 加入者名「国際語教育協議会」
楽天銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」